

オオカミと七ひきの子ヤギ

20150821 V.2



人形

- オオカミ : [タッチー (マッキー形式)]
- 母ヤギ : [チョッキー (クレードル付)]
- 子ヤギ① : [チョッキー (クレードル付)]
- 子ヤギ② : [チョッキー]
- 子ヤギ③ : [チョッキー]
- 子ヤギ④ : [チョッキー]
- 子ヤギ⑤ : [チョッキー]
- 子ヤギ⑥ : [チョッキー]
- 子ヤギ⑦ : [チョッキー (クレードル付)]



| 1

背景



ヤギの家



ドアと小窓のパネル



井戸

おしまいボード

小道具

- 白手袋
- 生卵
- オオカミのまぶた×2
- ハサミ
- 石 (8個)

1景 子ヤギたちの家の中

☆舞台全体に家の中ユニット上手側に大きなドアと小窓

七ひきと母はバスケットにスタンバイさせる

司会

「[バスケットを持って舞台前へ出る] 昔…あるところにお母さんヤギと七ひきの子ヤギがいました…これがお母さん… [母さんヤギを置く] それから子ヤギたちは… [まず子ヤギ①を母さんヤギの

劇団 オンサンタ

下手におく] これが一番上のお兄さんヤギいっくん…それから二番目…三番目…四番目…五番目…六番目… [と次々下手に向けて並べていく] そしてこれが一番小さい末っ子のななちゃん… [お母さんヤギの上手にくっつけて置く] さて、ある日のこと…お母さんはお使いに行くことになりました…さあ…ここからお話が始まります [と舞台裏へ入り芝居となる]



母ヤギ

「子どもたち…お母さんはこれからお使いにいきますからね…みんなオオカミに気をつけるんだよ…オオカミは一度でも家の中に入るとお前たちをみんな食べてしまうよ…でも声はガラガラしているし 前足は黒いから お前たちはすぐオオカミと気がつくだろうよ… [子ヤギ①に向かって] いっくん…おまえは一番大きいお兄ちゃんだから弟や妹をよろしくね…」

子ヤギ①

「大丈夫…まかせておいて」

母ヤギ

「じゃあ行ってくるよ [ドアから出ていく]」

語り

「お母さんが出かけると… [オオカミがドアの外に登場]」

オオカミ

「よーし…やっとチャンスがきたぞ…今ならこの家には子ヤギだけだな…中に入ってみーんな食ってやろう… [ドアをたたいてガラガラ声で] ドンドン…子どもたち…母さんだよ…ドアを開けて…忘れ物をしたんだよ」



子ヤギ①

「そのガラガラ声は母さんじゃない…お前はオオカミだ」

オオカミ

「[正面を向き小声で]なるほどね…それじゃあ 生卵を食べて…[大きな口を開けて卵を飲み込む] ゴックン…ア・ア・ア・アー [発声練習して] かわいい子どもたち 私を入れておくれ…本当に忘れ物をしたんだよ…早く開けて…」

子ヤギ①

「お母さん…窓から手を見せて…」

オオカミ

「手かい…?ほら… [窓から黒い手を出す]」

子ヤギ①

「お前なんか母さんじゃない…母さんはきれいな白い手をしているんだ…お前の手は真っ黒じゃないか…お前はオオカミだ…」

オオカミ

「[小声で] おっといけない…なるほどね…用心深い子だな…だがねえ…おれは白い手袋を持っているぞこいつはヤギ革だぞ…これならどうだ… [白手袋をして] かわいい子どもたち…本当に忘れ物がある…早くお前たちに食べ物をもってきたいの…開けて…」



子ヤギ①

「窓から手を見せて…」

オオカミ

「[小声で] まってました…ほら… [窓から白い手を出す]」

子ヤギ①

「あっ白い…ぼくたちと同じ白い手をしている…声もきれいだ…本当にお母さんなんだ…ガチャ [カギを開ける]」





オオカミ 「どれ… [ドアから黒い方の手を出す]」  
 子ヤギ① 「あっ手が黒い…オオカミだ…えいっ [ドアを閉める]」  
 オオカミ 「あいたたたた…ドアを閉めやがった [手が挟まった状態]」  
 子ヤギ① 「みんな…ぼくが押さえているから早くかくれてっ [ここで子ヤギ①とオオカミストップモーション]」  
 司会 「一番お兄さんヤギがドアを押さえている間にはほかのこやぎたちはそれぞれ思い思いのところにかくれました…どこにかくれたかというところ… [といいながら下手側から子ヤギたちを隠していく] …一匹はベッドの中に…一匹は暖炉の中に…一匹は戸棚の中に…一匹は洗い桶の下に…一匹はテーブルの下にかくれました… [一匹ずつ隠していくがここまでの5匹は体の一部分が外から見えるようにしておく] そして最後までお兄さんやぎの側にいた一番小さいなちゃんは時計にかくれました… [時計の中にすっぽりと入れる]」



オオカミ 「ウォーっ… [オオカミドアを開け入りこむ]」  
 子ヤギ① 「[跳ね飛ばされて] あっ…」  
 オオカミ 「さあ…とうとう中に入ったぞ…やいチビ助…お前から丸のみだ…ゴクン」  
 子ヤギ① 「あーっ [飲み込まれる]」  
 オオカミ 「一匹目…さて…あとはどこにいるのかな？この家には子ヤギが7匹いることはわかっているんだ…どこかな？…どこかな？… [と探し回りテーブルの前で] おや？…テーブルが何で浮いているのかな…みつけた…さあ出てこい [引っ張り出して] ゴクン…」

子ヤギ② 「あーっ [飲み込まれる]」  
 オオカミ 「二匹目…さて…残りは五匹… [と戸棚に目をつけ] おや？あの青いものは何だ…みつけた…さあ出てこい [引っ張り出して] ゴクン…」



子ヤギ③ 「あーっ [飲み込まれる]」  
 オオカミ 「三匹目…さあて…残りは四匹… [と洗い桶に目をつけ] おや？この桶の下に見える白い頭は何だ…みつけた…さあ出てこい [引っ張り出して] ゴクン…」

子ヤギ④ 「あーっ [飲み込まれる]」  
 オオカミ 「四匹目…さあて…残りは三匹… [と暖炉に目をつけ] おや？暖炉から手が出ているぞ…みつけた…さあ出てこい [引っ張り出して] ゴクン…」

子ヤギ⑤ 「あーっ [飲み込まれる]」

オオカミ 「五匹目…さあて…残りは二匹… [とベッドに目をつけ] おや？ベッドの布団から鼻が見えているぞ…みつけた…さあ出てこい [引っ張り出して] ゴクン…」

子ヤギ⑥ 「あーっ [飲み込まれる]」



オオカミ 「六匹目…いやあ…食った食った…残りは一匹…どこかな？… [とあちこち歩き回るが] いないなあ…どこにいる…出てこい [中央で正面を向いて] 見つからない…でもまあいいか… [大きなお腹を見せて] おれはもうお腹いっぱいだよ…腹がふくれたらとたんにねむたくなってきた…どれひとやすみ […と上手に歩き出てよろよろと井戸の前でバツタリ [オオカミにまぶたを付ける] …母ヤギ上手から出て来てオオカミを見つけて]」

母ヤギ 「オオカミが寝ている…子どもたちは大丈夫かしら… [母ヤギドアを見て] ああ…ドアが開いている…子どもたちがいない…どうしたのかしら…いない…いない… [と順次空になったテーブル、洗い桶、戸棚、暖炉、ベッドをみていく] ああどこにもいない…もしかして来てかわいい子どもたちを食べてしまったのかしら… [と中央に立つと]」



子ヤギ⑦ 「お母さん [と顔をだす]」

母ヤギ 「ああ…ななちゃんそこにいたの？…お兄ちゃんたちは…」

子ヤギ⑦ 「オオカミに食べられちゃったの…みんな見つかって大きな口でパクン ゴクンって一口で飲み込まれたの…怖かったよーっ [と母ヤギに近寄る]」



母ヤギ 「そうだったの…怖かったでしょうね…もう大丈夫…オオカミのやつ子どもたちを丸のみにしたということはまだ助かるかもしれない…ななちゃん一緒に来て… [と大きなハサミを持って外へ]」

## 2景 井戸の前

☆舞台上手寄りに井戸のセット（裏に石ころをスタンバイ）その前にオオカミが寝ている。下手から母ヤギと子ヤギ⑦登場…

母ヤギ 「オオカミのやつ…こんなところで寝ている…大きなお腹…この中に子どもたちは飲み込まれたのね…早く助けなくちゃ… [と大きなハサミを取り出し] チョキ チョキ チョキ… [とゆっくり切ると腹の中から子ヤギが出て来る]」



子ヤギ②～⑥ 「お母さん…怖かったよ…オオカミのお腹の中は暗かった…狭かつ



た…苦しかった…ぼく面白かったよ… [などなどと言言いながら順次出て母ヤギの周りに並んで行く…最後に子ヤギ①が出て]

子ヤギ①

「お母さん…ごめんなさい…ぼくがオオカミにだまされて家にいれちゃったんだ」

母ヤギ

「いいのよ…よくがんばったわ…ではこの悪いオオカミをこらしめてやりましょう…お前たちのかわりに…大きな石を詰めてやりましょう… [井戸の裏から石を取り出しオオカミの腹に入れていく] 一つ…二つ…三つ…四つ…五つ…六つ…七つ…それから最後に私の分を [と全員の分が入った所で] それでは…こうしてお腹を元通りに塗っておきましょう…チク チク チク… [と縫って] さあできた…これからどうなるかみんなで見ようね [と下手側に…]」

子ヤギ①～⑦ 「ハイ… [と返事をして後に続き下手に移動]」

オオカミ

「[目をさまして起き上がり] ウーン…何だかお腹が重たいぞ…おかしいな…飲み込んだ子ヤギが腹の中でまだゴロゴロする…ウーン…気持ちが悪…のどが渴いた [と井戸のそばへ行き] どれ…水でも飲めば良くなるかな…アアッ [バランスを失って井戸の中へ] ポチャーン… [水しぶきがあがる]」

司会

「悪いオオカミは井戸に落ちてしまいました…ヤギの親子はそれからもずっと仲良く暮らしました…おしまい [おしまいボードをだす]」

=完=



### 上演ノート

- ✚ 究極の一人操作作品です…これさえできればもう何でも大丈夫?
- ✚ ヤギのかくれんぼ、オオカミの丸呑みを見せ場になっています
- ✚ ストーリーは司会者になったように気分を切り替えてどうぞ…
- ✚ もちろん、人数がいるのなら、分担して楽しみましょう…